

ゆざわ 市議会だより

令和6年11月1日

79



第1会場：雄勝文化会館



第2会場：皆瀬生涯学習センター

～ 議会フォーラム2024開催 ～

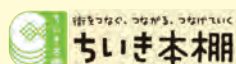
市民の代表である議員が議会として市民の声を聴くために動く！

今年のマチトーク「議会フォーラム」は、開催場所を雄勝地区と皆瀬地区に移し、より多くの市民皆さんの声を聞くために分散開催を企画し実施いたしました。

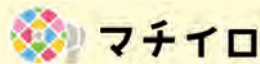
『もっと話したい！』そのような声をいただいた時間でした。笑顔で記念の一枚！頂きました。

第3回定例会

特集：議会フォーラム2024	P.2～5
7月臨時会概要、特別委員会設置について	P.6
一般質問	P.7～11
議案審議（定例会・補正予算概要）	P.12～13
議決結果一覧表、関係私企業	P.14～15
総括質疑	P.16～17
委員会行政視察報告、意見交換会	P.18～19
特集：出張！！なんでも意見交換会	
【湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会 ×教育民生常任委員会】	P.20～21
議会のうごき ほか	P.22



スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。





7月6日土曜日、市民に身近で信頼される議会を目指し、市民参加の多様な意見交換の機会を拡充し、議会をより身近に感じていただくとともに、政策立案機関としての機能強化に繋げるため、これまでの議会報告会に代わる新しい取組として2022年から毎年継続して開催している「議員としゃべろうマチトーク!! 議会フォーラム2024」を開催しました。

3つのテーマについて意見交換しました

ラウンド1

【地域の現在について】

- ・困っていること、おかしいと思っていること、誇れること、心配なこと、足りないと思っていることなど、地域の現在についてどんなことを思いますか？

ラウンド2

【理想の地域の未来について】

- ・ラウンド1を踏まえ、どんな地域であれば良いか、目指すべき理想の地域について語り合しましょう

ラウンド3

【理想の地域の未来を実現するため】

- 何ができるか、何をすべきか話し合しましょう

今年度初めて導入した「えんたくん」という対話ツールを使用し、グループがひとつの円になり飲み物を飲みながら、意見交換を行いました。

ワールド・カフェ形式による対話は、人の話を批判せず、どんなことでも話せる場で、沈黙も歓迎というルールの中で行い、お互いの意見を聞きながら個人の考えを深めていきました。対話ツールの「えんたくん」の効果もあり、参加者と議員が一体となって対話が行われていました。

休憩時間になっても白熱した話し合いが続くグループも見られました。



意見交換のあとは、各グループごとに話し合われた内容を、参加者同士が「えんたくん見学会」として振り返りました。

アンケートと七夕絵どうろうまつりに短冊として飾る用紙にそれぞれの思いを記入していただきました。

各会場でのファシリテーターを務める広報広聴委員



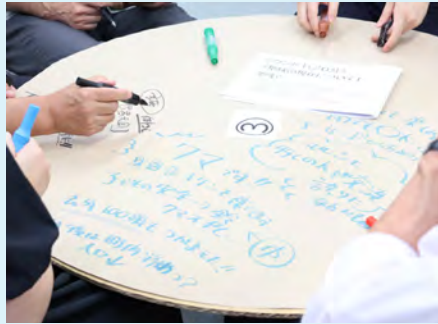
藤田委員長



寺田委員



～第1会場 雄勝文化会館～



湯沢市の未来が活気にあふれ、幸せや豊かさを実感できる魅力ある地域であるために



ワールド・カフェでは、発言者の意見にみんなが耳を傾けます

意見の違いも楽しめます

各グループのえんたくんを見てみよう



共感するコメントにシールを貼ってみました

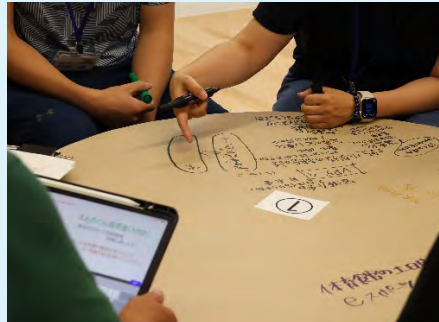
市民と議会がともに学び、ともに語り合います



～第2会場 皆瀬生涯学習センター～



今やるべきこと、できることのアイディアをみんなで考えよう



相手の意見を聞き、自分の考えが深まることもありました

活発な意見交換が行われました

えんたくんで意見アイデアの共有



えんたくんを見ながらの会話もはずみました

地域の未来をみんなで一緒に考えます



議会フォーラムを終えて、議員全員で振り返りをしました



話し合われたことに対し、それぞれのグループでとりまとめを行いました。

8月7日（水）**広報広聴委員会**を開催し、議会フォーラム2024の振り返りを行いました。いただいた意見を分野ごとにまとめたり、紐づけをしました。参加者の皆さんからいただいたご意見、アイデアや想いは、政策立案機関としての機能強化のため、議会改革推進会議に報告し、対応方針の協議へと進んでいきます。



各常任委員会でも議会フォーラムを振り返りました

総務財政・教育民生・産業建設常任委員会においても議会フォーラムを振り返り、それぞれの委員会所管の意見について、委員会としての今後の対応について協議しました。

総務財政常任委員会

「地熱」「ふるさと納税」「地域公共交通」をはじめ、意見交換での所管する意見の要旨を踏まえ、所管事務調査や各委員が予算・決算の総括質疑、一般質問の機会を捉えて、調査・質問に当たりたい。

教育民生常任委員会

「スクールバスの活用について」は、輸送資源の一つとして市民への持続可能な移動交通手段としての活用が期待される。今後本市における地域公共交通のあり方やその計画策定に当たっては十分に検討すべき項目である。

産業建設常任委員会

「商店街のにぎわい創出」「観光客・観光人口増加」「宿泊施設の不足」「雪資源の活用」などの意見に焦点を当て、本委員会主催の出張!!なんでも意見交換会や所管事務調査を実施し、調査・研究を行う。



これからも、市民の皆さんと議員が一緒になって湯沢市のことを考える機会を設けていきます！

**議会フォーラムは来年も開催する予定です。
地域の未来について意見交換しませんか。**



**議会フォーラム
2024の開催報告書
QRコード**

詳しい様子や、えんたくんの記載内容などご覧いただけます。



令和6年7月臨時会概要

7月30日に臨時会が開催され、議案のほか決議案について、それぞれ原案どおり可決しました。

○提出議案：委員会審査（3件）

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
議案第74号	損害賠償の額の決定及び和解について	総務財政	原案可決
議案第75号	工事請負変更契約の締結について（成沢工業団地敷地造成工事）	産業建設	原案可決
議案第76号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	原案可決

○決議案（1件）

議案番号	件 名	議決結果
決議案第1号	次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会設置を求める決議	原案可決

◆ 補正予算の事業 ◆

▽物価高騰対応重点支援事業（福祉課）

89,240千円

令和6年分推計所得税及び令和6年度個人住民税の課税状況に基づき算定したところ、定額減税しきれないと見込まれる人数と定額減税補足給付金（調整給付金）が、当初の積算よりそれぞれ増加するための経費

▽企業誘致対策事業（商工課）

142,500千円

成沢工業団地の造成工事について、Orbray株式会社から事業拡大に伴う計画変更により、用地取得の前倒しの要請を受けたことから、現在着手している第Ⅰ期造成工事のほか、各種工事を年度内に着工するための経費

▼補正後の予算総額は、321億8,133万7千円になります

議員発議により、特別委員会を設置しました

令和6年7月臨時会において、議員発議の決議案第1号「次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会設置を求める決議」を可決しました。

今後は、議員7名で構成する特別委員会において、湯沢市議会の目指すべき将来像を意識した環境整備を推進するため、人材育成、働き方に関することや議員報酬のあり方などの調査・検討が行われることになります。

- 1. 名 称** 次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会
- 2. 目 的** 市民に身近で信頼される開かれた議会づくりを進めるため、多様性、包摂性、働きがい、働きやすさなどの観点から持続可能な湯沢市議会のあり方について調査する。
- 3. 期 間** 令和6年7月30日から調査が終了するまで



委員長
柏原 久寿



副委員長
石川 隆一



委 員
大山 豪



委 員
寺田 純二



委 員
高橋 達



委 員
加藤 昭嗣



委 員
渡部 正明

令和6年

第3回 定例会

8月30日から9月25日までの27日間の会期で第3回定例会が行われました。

9月5日、6日に開かれた本会議では、8人の議員が一般質問を行い、各議員が活発な議論を展開し、市政全般についてたどしました。

質問項目と答弁を要約した内容は次のとおりです。

一般質問

 各議員の一般質問の様子を、ユーチューブ動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひご視聴ください。

	議員名 ※(質問方式)	質問項目	ページ
9月5日	柏原久寿 (一括)	◇豪雨被害に対する対応について ◇インバウンド誘客について ◇市の職員採用試験について	P. 8
	石川隆一 (分割)	◇豪雨災害への対応について ◇企業誘致対策事業について ◇山田地区豚舎の臭気対策について ◇市政運営について	
	渡部正明 (一括)	◇どうする 自然災害発生時 ◇どうみる 令和6年度市民満足度調査 ◇どうなる 台湾との交流 ◇どうする 地熱	P. 9
	寺田純二 (一括)	◇令和6年度市民満足度調査結果について ◇若者や女性が活躍しやすい環境づくりについて ◇誰もが暮らしやすい社会について ◇情報発信力の効果と検証について	
9月6日	小田嶋秋一 (分割)	◇本市の観光について ◇DXの推進について ◇ICTを活用した授業について	P.10
	沓澤正雄 (分割)	◇夏場の通学環境整備と夏季休業について ◇公共施設の指定管理について	
	加藤昭嗣 (一括)	◇移住・定住について ◇雇用について ◇教育について	P.11
	宮原晃 (一括)	◇湯沢市災害時要援護者避難支援プランについて ◇水道水の水質管理について ◇市内河川等の水質状況について	

※一括質問方式…全ての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める方式
分割質問方式…質問項目ごとに分けて質問し、その都度答弁を求める方式

一般質問

◆豪雨被害に対する対応について

質問 災害時における市の危機管理体制と職員の危機管理意識について伺う。

答弁 気象警報の発令や土砂災害、洪水の危険性の状況により災害情報連絡室、災害警戒部を設置し、情報収集、関係機関等との連絡、調整を行っている。また、災害の状況に応じ災害対策部、災害対策本部を設置し、全庁体制で防災活動を実施することとしている。

全職員に情報が伝わる連絡体制を構築しており、緊急動員等に即応可能な体制としている。

質問 土地改良区と連携した対応について伺う。

答弁 情報を共有し、被災箇所、被災規模の確認を行い、土地改良区の区域内は土地改良区が、その他の区域は市が主体となつて対応していくこととしている。

質問 林道、作業道等災害時の維持補修管理について伺う。

答弁 林道については全て市が維持補修を行い、市有林作業道

についても林道補修と並行して復旧を進めている。民有林作業道のうち、国、県または市の補助事業等で整備された森林に付随した恒久的な作業道については、費用の一部を支援している。

◆インバウンド誘客について

質問 受入態勢の現状と今後の環境整備について伺う。

答弁 湯沢市観光物産協会が主体となり、(仮称)湯沢市インバウンド観光推進機構の設立に向けた協議を開始した。引き続きソフト面の充実を図り、観光客の満足度向上とリピーターの確保等につなげていく。



◆豪雨災害への対応について

質問 被災した農地や農業施設の早期復旧を目指し、農業者の経営再開に対する支援を県や土地改良区と連携して行っていたきたいが、見解を伺う。

答弁 県から事業区分や対象経費に係る指導や助言をいただいており、土地改良区とは被災箇所や被災規模の確認等により情報を共有して復旧について調整及び連携を図りながら作業を進めている。

◆企業誘致対策事業について

質問 企業誘致のため、新たな産業団地の整備に向けた開発計画を予定しているが、現時点での候補地について伺う。

答弁 土地利用の現状や地形及び産業インフラ等の条件を調査、比較し候補地を選定したい。

◆山田地区豚舎の

臭気対策について

質問 昨年10月、秋田県農業公社の協力により発生元への指導や助言をしているが、その後、改善のために必要な対策を講じ

ているのか、現状について伺う。

答弁 事業所との協議において、飼料の変更により飼育豚の体質改善を進めているほか、施設の換気設備を改修し臭気の発生防止に努めていることを確認している。改善には一定の時間を要するものと考えており、引き続き事業者と確認や協議を進めていく。

◆市政運営について

質問 来春行われる湯沢市長選挙に出馬する考えがあるのか伺う。

答弁 次の4年についても市職員と一緒に、先頭に立ち市政を進めていきたい。



一般質問

◆どうする 自然災害発生時

質問 いつ、どこで発生するか分らない自然災害に対しすぐに対応できる補助金要綱の制定と、それを周知することが大事だと思うがどうか。

答弁 今回の雨だけでなく、いろいろな部分を想定し準備を進め、周知についてはチラシを作成して配布したいと考えている。

質問 自主防災組織の災害発生時の自助、共助の取組を伺います。

答弁 日頃から地域での声かけや協力関係の構築といった地域コミュニティの活性化が地域防災力の向上につながることで、自主防災組織の組織化の推進と併せ、防災講座等で伝えている。

◆どうみる

令和6年度市民満足度調査

質問 第2次湯沢市総合振興計画が、市民満足度調査に満足度上昇となって反映されているか伺う。

答弁 調査から、満足度が上昇している項目があり取組が評価されたものと考え。総合振興計画に定めた成果指標の達成度等を確認しながら次年度以降の事業計画策定に反映させ、さら

なる市民満足度の向上に努める。

◆どうする 台湾との交流

質問 観光誘客に向けて国際交流員の配置を検討できないか伺う。

答弁 配置した場合の具体的な役割効果について他団体の活動事例等について情報を収集し検討する。

◆どうする 地熱

質問 地熱資源保護及び活用に関する条例の制定について伺う。

答弁 本市は、事業者が行う地熱開発に対して、市が各地熱開発地点で協議会を立ち上げ、地域住民や関係者とともに自然環境の保全や地元理解に努めている。既に条例を制定している他市の事例も参考としながら取り組む。



◆誰もが暮らしやすい社会について

質問 発達障がい・知的障がいを持つ方やご家族への支援体制はどのようなものがあるか伺う。

答弁 保健師や家庭相談員などの専門職が、子供の成長に関わる様々な悩みや問題について保護者の相談に対応し、医療、保健、福祉、教育等の関係機関と連携して支援している。心身に障がいを持つお子様の保護者会である、すぎのこ会への支援、子供の成長をサポートする幼児教室などの療育サポート事業や、児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障がい児福祉サービス事業所による療育支援のほか、市が設置している湯沢市基幹相談支援センターでは、年齢や障がいの種別に関わらず、ご本人やご家族から、医療や福祉サービス、生活に関する悩みなど様々な問題に対し、包括的に相談を受け付け、関係機関と連携して自立に向けた支援を行っている。

質問 精神に障がいを持つ方やご家族への支援体制は万全であるか伺う。

答弁 発達障がいや知的障がいと同様に、ご本人やご家族からの医療や福祉サービス、生活に関する様々な悩みについて包括的に相談を受け付け、関係機関と連携して支援をしている。社会復帰までの支援としては、障がい福祉サービスを活用した就労訓練をはじめ、障害者就業・生活支援センターでは、ハローワーク等の関係機関と連携し、障がいを持つ方の就業面や生活面に関する相談から職場実習や就職先の紹介、就職後の職場定着支援まで一連の支援を行っていることから、精神に障がいを持つ方やご家族に対する支援体制は整っているものと考えている。



一般質問

◆本市の観光について

質問 国内からの観光入込客数を伺う。

答弁 令和5年は96万5098人であるが、これは国内外の区別なく宿泊者数、代表的観光拠点やイベントの来訪者数等により算出されたもの。アプリ等で居住地の把握だけでなく、付随したデータの取得ができれば活用したいと考える。

質問 地域づくりで地域に磨きをかけるための働きかけをしているか。

答弁 特段行っていないが、受入れ環境や地域の資源の磨き上げは、行わなければならないので、市民の方々に御協力をいただき、観光資源を磨き上げ、人・食等の関連性を高めていきたい。

◆DXの推進について

質問 標準システム移行に伴う課題と今後の対策について伺う。

答弁 短期間で構築の時間的余裕がないこと、国の制度改革等により一部予定より遅れていることが不安要素である。進捗情報を常に把握し、令和7年度中のシステム構築を図る予定である。

◆ICTを活用した授業について

質問 令和6年度のICTを活用した授業の実施状況について伺う。

答弁 ICTに苦手意識があった教員も進んで授業実践で活用することが多く見られるようになった。また、今年度からデジタルドリルを導入し、学習進度や理解度に合わせ学習を進め、個別最適な学びの充実につなげられている。

質問 情報モラルの教育についてはどのようにお考えか。

答弁 ICT活用に関する指針やガイドライン等に倣いながら、常に指導をしている。

質問 障がい者へのICT教育についてはどのようにお考えか。

答弁 いろいろな研究事例を参考にしながら、進めていく。



◆夏場の通学環境整備について

質問 熊の出没や異常な高温気象への対応として、早急にスクールバスによる支援を実施すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 山田地区の熊の出没情報に対し、小・中学校の児童・生徒は、保護者による登下校の送迎や付き添いをお願いした。その後も熊の出没情報が相次ぎ、保護者の負担が長期にわたり、放課後児童クラブを利用する児童について、市の庁用バスで会場まで送り届けるなど、保護者の負担軽減を図った。高温気象への対応は、今年度、湯沢市学校教育環境適正化検討委員会、学校規模や配置方針等のほか、スクールバス乗車対象の基本方針見直しの必要性について意見をいただき、その内容を基に検討を進める。

◆公共施設の指定管理について

質問 指定管理施設の総数及び指定管理費の総額を伺う。

答弁 令和5年度末における総数は30施設である。また、令和5年度の指定管理費の総額は23

施設に対し、
2億3110
万9千円である。

質問 ほっと館と緑風荘の収支の推移とその所感を伺う。

答弁 指定管理料や修繕料等の市負担額は、入湯税収入を別として、ほっと館は、令和3年度2245万1361円、令和4年度6238万154円、令和5年度2621万6610円、緑風荘は、令和3年度2846万3円、令和4年度2946万3253円、令和5年度3601万1368円である。維持に係る負担は小さくないが、客足の回復もあり、引き続き利用者の増加と収支改善に努める。



一般質問

◆移住・定住について

質問 移住者の推移と年代や世帯構造、移住理由について伺う。

答弁 今年7月末現在で101世帯160人である。県移住登録サイト登録者へのアンケートによると、20代が最も多く、50代、30代と続き、約9割が単身世帯である。就職・転職のためのUターン者が多く、家族の存在が移住の決め手となっている。

質問 移住する上で仕事やネットワークになると思うが、テレワークができるシェアオフィスの整備状況について伺う。

答弁 現在、整備については特段考えていないが、今後開館する駅前の複合施設にはミニ環境を整え、一定の需要に応えられると考える。

◆雇用について

質問 本市の雇用状況と人手不足への対応について伺う。

答弁 建設業と介護サービス業において労働力が不足しているが、対策として資格取得に係る補助金を整備し人材確保と労働生産性の向上を支援している。

質問 産業団地を今後整備する予定ではあるが、もう少し早く計画すべきではなかったか伺う。

答弁 うれしい誤算で岩崎、成沢とも全て埋まってしまい、少し遅れた感が否めないと思っている。

◆教育について

質問 児童・生徒の発育や健康状態について伺う。

答弁 発育は良好であるが、視力の矯正は増加傾向にある。

質問 全国学力・学習状況調査の状況について伺う。

答弁 今年度は小学校では国語、算数ともに全国平均を上回っているが、中学校では国語は全国平均を上回ったものの、数学は若干下回っている。



◆湯沢市災害時要援護者

避難支援プランについて

質問 災害時要援護者避難支援プランと自主防災組織の連携について、どのように考えているか伺う。

答弁 災害時要援護者避難支援プランを有効に活用していくためには、自主防災組織との連携が非常に重要であり、災害時要援護者避難支援プランを活用して、平時時の声かけ、見守り、または、実際に避難訓練の実施などの連携をしながら進めていくことを考えている。

◆水道水の水質管理について

質問 県央部の市の水道水からネオニコチノイド系の農薬が検出されたとの報道があるが、所見を伺う。

答弁 ネオニコチノイド系の農薬については、アブラムシやカメムシなどの害虫を駆除するために使用されている農薬であり、本市においても水道水の水質を管理する上で、十分に留意すべき事案であるため、水源と

農地の位置関係を踏まえた検査箇所を選定し、9月中旬に検査を行い、安全性を確認する。

◆市内河川等の水質状況について

質問 国内各地の河川や井戸水から、発がん性のおそれのある化学物質「PFAS」（ピーファス）が、大量に検出されているとの報道があるが、所見を伺う。

答弁 PFASは1万種類以上あると言われている有機フッ素化合物の総称であり、主にメッキ処理剤や泡消火剤に使用されている。人体に有害な可能性も指摘されており、市民の健康を守る上から、今後の展開に注視していく。



議 案 審 議

主な議案や補正予算、事業などについてご紹介します。



人事案件

●人権擁護委員の任命

伊藤 藤 ひろ子 (再任／山田)

石成 美和子 (再任／三関)



条例の制定

●情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部が改正されることに伴い、関係条例について所要の改正を行うための条例の制定



条例の一部改正

●湯沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

湯沢市ひとり親家庭等住宅整備資金貸付規則及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令の廃止等に伴う所要の改正

●湯沢市国民健康保険条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴う所要の改正



木質バイオマス発電所の建設予定地



旧湯沢北小学校



財産の処分

●旧湯沢北小学校グラウンドの一部

- ・土地の所在 字富士見97番地2ほか
- ・土地の地積 7332㎡
- ・契約金額 2275万円
- ・契約相手 横手湯沢フォレストサイクル株式会社
- ・売払の目的 木質バイオマス発電所建設用地

●湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

職員の一連の事務誤りにより、市政に対する信頼と市職員に対する信用を失墜させることとなった責任を取るため、市長、副市長の給料について減額の措置を講ずるもの

※令和6年10月分を10分の1減額



令
和

6
年度

一般会計 15億 521万 6千円の増額

(補正後の予算総額は、337億5,724万 8千円になります)

特別会計 3,385万 6千円の増額

(補正後の予算総額は、117億8,713万 4千円になります)

◆ 補正予算の主な事業 ◆

【補正予算 第6号】

▽市制施行周年記念事業

(総務課) 178万8千円
 市制施行20周年の節目を迎えるにあたり、本市が持つ豊富な地熱資源などの魅力について市民に再認識してもらうとともに、市民と共に本市の将来を考える機会とするためのシンポジウム開催に係る経費の追加

▽難聴児・者補聴器購入費給付事業

(福祉課) 331万3千円
 聴覚機能の低下により日常生活に支障をきたしている軽度・中等度難聴者に対し、補聴器購入費等の一部を補助することにより、コミュニケーション能力の向上を図り、積極的な社会的参加を支援するための経費の追加

▽企業誘致対策事業

(商工課) 686万9千円
 企業立地の受け皿としての新たな産業団地整備に向けて、企業ニーズの把握、条件比較による適地選定調査及び開発計画策定に係る経費の追加

▽新たな森林管理システム推進事業

(農林課) 940万5千円
 森林資源の利活用、持続可能な森林経営及び循環型の地域経済の推進を図るための長期的な見通しを定め、「湯沢市森林ビジョン」を作成するための経費の追加

▽金融対策事業

(商工課) 4,126万1千円
 新型コロナウイルス感染症の影響により売上減少している市内中小企業者が、県の融資制度を利用した場合に発生する利子を補給することにより、経営安定を図るための費用の追加

【補正予算 第7号】

▽ごみ処理対策事業

(環境共生課) 140万7千円
 7月の豪雨により発生した床上・床下浸水に伴う災害廃棄物の分別・運搬・処分費用の追加

▽農業用施設災害復旧費

(農林課) 1,712万9千円
 7月の豪雨により被災した農業用施設に対し、復旧工事等に係る費用の追加

▽林業用施設災害復旧費

(農林課) 7,131万6千円
 7月の豪雨により被災した林業用施設に対し、復旧工事等に係る費用の追加

▽公共土木施設災害復旧費

(建設課) 4億6,869万5千円
 7月の豪雨により被災した公共土木施設に対し、復旧工事等に係る費用の追加

▽小学校施設災害復旧費

(教育総務課) 101万4千円
 7月の落雷により被害のあった設備機器の復旧に係る費用の追加

▽中学校施設災害復旧費

(教育総務課) 36万3千円
 7月の落雷により被害のあった設備機器の復旧に係る費用の追加

《各会計補正予算》

会 計 名		今回補正予算額
一 般 会 計		15億521万6千円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	17万1千円
	後 期 高 齢 者 医 療	398万6千円
	介 護 保 険	1,891万3千円
	養護老人ホーム愛宕荘	62万8千円
	皆 瀬 更 生 園	38万3千円
	湯 沢 財 産 区	5万5千円
	院 内 財 産 区	887万4千円
	秋 ノ 宮 財 産 区	84万6千円

令和6年 第3回定例会 議決結果一覧表

○提出議案（23件）／8月30日、9月25日上程 9月25日議決

※は賛否が分かれたもの

▼付託省略（3件）

番 号	件 名	議決結果
議案第77号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度湯沢市一般会計補正予算第5号）	同 意
議案第78号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案第79号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意

▼総務財政常任委員会 審査（3件）

番 号	件 名	議決結果
議案第80号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第81号	湯沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第97号	湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査（3件）

番 号	件 名	議決結果
議案第82号	湯沢市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第83号	秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原案可決
議案第98号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
議案第84号	財産の処分について	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（13件）

番 号	件 名	議決結果
議案第85号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第86号	令和6年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第87号	令和6年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第88号	令和6年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第89号	令和6年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第90号	令和6年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第91号	令和6年度湯沢市湯沢財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第92号	令和6年度湯沢市院内財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第93号	令和6年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第94号	令和5年度湯沢市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第95号	令和5年度湯沢市水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決
議案第96号	令和5年度湯沢市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決
議案第99号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第7号）	原案可決

○陳情（2件）

▼総務財政常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第45号	旧稲庭小学校の利活用に関する陳情書	採 択

▼教育民生常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第46号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択

○意見書案（1件）

番 号	件 名	議決結果
意見書案第6号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書	原案可決

総括質疑

議員名 (会派)	質 問 項 目	ページ
高 橋 達 (湯和会・公明)	◆令和5年度一般会計決算と主な事業について ◆歳入の状況から ◆歳出の状況から ◆決算附属説明書から ◆決算審査意見書 P94 その他について ◆決算から見てくる第2次湯沢市総合振興計画に係る令和5年度実績について（第5章第4節都市基盤の整備について）	P.16
高 橋 克 己 (政和会)	◆秋の宮温泉郷活性化事業について ◆消防施設整備事業について	P.17
藤 田 健 志 (湯沢政策研究会)	◆未来投資型人材育成事業について ◆災害時要援護者避難支援ネットワーク構築事業について ◆部活動指導員配置促進事業について ◆文化財資料収蔵庫管理費について	

◆ 関係私企業との請負契約などの状況 ◆

湯沢市議会議員政治倫理条例等に基づく議員関係私企業との請負契約等及び請負単価契約の状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆関係私企業との請負契約など

- 1 請負契約等の状況（1件あたりの額が30万円を超えるもの）
令和6年5月1日から令和6年7月31日までに締結したもの 該当なし
- 2 請負等単価契約の状況（契約期間終了後における支払総額が30万円を超えるもの）
令和6年5月1日から令和6年7月31日までに締結したもの 該当なし

総括質疑

9月10日、令和5年度の決算について、予算決算常任委員会の総括質疑が行われました。湯和会・公明、政和会、湯沢政策研究会からそれぞれ1人が会派を代表して質疑を行い、令和5年度各予算の決算の内容についていただきました。

ここでは、質疑の内容の一部を抜粋して掲載します。



「湯和会・公明」
高橋 達 委員



■令和5年度一般会計決算と 主な事業について

質疑 決算に当たり市長としての行政効果が発揮できた主な事業について伺う。

答弁 令和5年度当初予算で掲げました5つの主要策について、着実に取組を進めることができたものと考えている。

質疑 市長の任期満了が近づいているが、今後の行財政運営においてどのような改善・工夫がなされるべきか市長の見解を伺う。

答弁 限られた財源をどのように配分するかということ、これが一番大切であると認識している。

■歳入の状況から

質疑 使用料については、十分にその目的による利用がされ、予算に見込んでいたとおりの収入確保

となったのか伺う。

答弁 皆瀬診療所の休診や稲川スキー場の雪不足等で減となった部分があったが、それぞれの施設においてはその目的に沿った利用と概ね見込みどおりの収入となっている。

■歳出の状況から

質疑 農林水産業費として行政効果が発揮できた主な事業はなにか伺う。

答弁 6次産業化施設整備支援事業では、6次産業化ビジネスの推進により市民満足度が上昇し、パルスシステム秋田南部圏食と農推進事業では、都市農村交流の活性化が図られた。

■決算附属説明書から

質疑 未来投資型人材育成事業のふるさとdeまんぷく支援事業は、令和5年度の目玉事業の一つであり、当初予算では593万円を予算措置していたが、減額補正された上に執行率が約70%であり申請者数及び利用件数が低調であったと認識する。成果と今後の課題並びに見直し・改善事項において、その振り返り等の内容がわか

らない。制度設計に無理があったのではないか見解を伺う。

答弁 未利用者を含めたアンケート結果からは、事業の周知不足や手続の煩雑さなどに課題があったものと認識している。課題事項を改善しても期待される事業効果を得ることが難しいと判断し、令和5年度限りで事業を終了したが、今後もアンケート調査などを実施しながら、若者回帰を促進するための効果的な取組を行っていきたいと考えている。

質疑 秋の宮温泉郷活性化事業は、本市の観光誘客を進める上で重要な事業の一つであるが、大きく減額補正され、執行率が約68%である。成果としては、観光PRツアー業務を3月に2回実施したのみであり、今後の課題については当初予算の課題をそのまま決算においても取り上げ、進捗がない。秋の宮温泉郷には魅力的な観光コンテンツが複数あり、宿泊の中核となる「秋の宮山荘」との協議を含め、事業執行に当たりどのような対応を講じたのか伺う。

答弁 観光体験事業3回と観光PRツアー2回を計画し、それぞれ地域の団体と旅行業者での実施を

総括質疑

■秋の宮温泉郷活性化事業について

質疑 宿泊支援事業に関し、客数の推移について伺う。

答弁 令和5年は約23万6千人、そのうち地元企業の3施設では約1800人ほどになる。



「政和会」
高橋 克己 委員

予定していたが、個別の宿泊施設を対象とした事業という取り扱いをしていなかったために秋の宮山荘との個別協議は行わなかった。観光体験事業では、雪下ろし体験などを計画していたが、記録的な暖冬により、事業を中止したところなどにより、大幅な減額や執行未済が発生する結果となった。課題については、引き続き優先的に取り組むべき課題であり、令和6年度の確実な事業実施に向けて取り組んでいきたい。

質疑 観光PR事業の参加者数等について伺う。

答弁 60歳以上の女性を中心に定員を満たす参加があった。

質疑 登山道の災害復旧の状況について伺う。

答弁 関係各所と情報を共有し、早期復旧に向け要望を継続している。

質疑 旧温泉プールと隣接の建物が未だに残っている。整理を考えているか伺う。

答弁 財産区にも関係するので、協議の上、進めたい。

質疑 この場所から川辺までに釣り堀やキャンプ場などを整備することで、子どもたちが遊べるよい環境づくりができると思うが見解を伺う。

答弁 周辺との面的な広がりやを考慮し、検討する。

■消防施設整備事業について

質疑 消防団員数の現状と推移について伺う。

答弁 令和6年4月1日現在の団員数は1378人、平均年齢49・2歳となっている。

質疑 高齢化が進む中、消防団員の定年延長の検討はあるのか伺う。

答弁 機能別団員制度を平成30年度から採用しており、現在69名の協力を得ている。定年延長は消防団との協議等を踏まえ検討する。

質疑 小型ポンプ付積載車の配備状況について伺う。

答弁 44台の積載車が配備されている。今年度新たに1台を配備する。今後の配備については第Ⅱ期消防力整備推進計画に基づき進めていく。

「湯沢政策研究会」
藤田 健志 委員



■未来投資型人材育成事業について

質疑 この事業に対する費用対効果について伺う。

答弁 アンケートの回答や奨学金返還助成申請者数が増加傾向にあることから、本事業については、一定の効果があると認識している。

質疑 事業の予算約900万円の対し、未執行額が約270万円であることから、想定した成果を得られなかったのではないかと考えるが見解を伺う。

答弁 奨学金返還助成制度に関して、奨学金の利用見込みを過大に見積もったことが要因と考えているが、希望する学生には助成を行うことができ、一定の成果はあったと考える。

質疑 学生に対する様々な施策を展開していく中で、市長が目指す将来像を伺う。

答弁 学生を含む若者は、湯沢の将来に大切な戦力であり財産であると認識している。今後若者の定住、人口減少対策に力を入れていきたいと考えている。



総務財政常任委員会 行政視察報告 7月8日(月)～10日(水)

●熊本県小国町「地熱の取組について」

◎小国町 小国町は、地域住民が地熱発電を運営する例や民間企業が短期間で地熱発電所を事業化した例、町では地熱開発に関する条例を整備し、また地熱事業者からの寄付による基金を設置していた。町が出資する地域新電力は、再生エネルギーの地産地消を目指し、地域貢献や発展につなげている。本市でも地熱開発に対する条例の有用性や必要性を研究するとともに地熱開発の多様性の創出に力を入れることでより地域に根差した「地熱のまち ゆざわ」が実現できるのではないかと感じた。



●大分県中津市

「行政サービス高度化プラン2022と中津流DXについて」

◎中津市 中津市のDXの取組は、①職員が主体的に取り組む②デジタル化で効率化・人にしかできない仕事を人③生活者視点に立ったサービスの開発、の3つの方向性を示していることが印象的であった。特に③は、新しいソフトを購入せずとも、既存のシステムを有効活用し、市民に身近なサービスの開発を市が行っている。市民サービスの向上や業務効率化した職員を表彰すること、テクノロジーを身近にする研修を通じDX推進が図られていた。



●大分県九重町「地熱の取組について」

◎九重町 九重町は、八丁原発電所を筆頭に日本で最も地熱発電設備容量の多い自治体(本市は2番)である。
町と民間企業が協働する地熱発電事業の菅原バイナリー発電所は、事業化の経緯に本市と共通する点が多い。
また、地熱を用いたグリーン水素の製造から供給まで地産地消で実証実験したプラント、化石燃料を使用せず地熱を有効活用しパブリカなどを栽培する大規模園芸施設などが存在する。町内各地で温泉が湧出し、地熱の存在が身近である地で、地熱の持つ可能性の幅広さを感じる視察となった。



●佐賀県基山町

「オンデマンド交通の取組について」

◎基山町 基山町は、「まちづくり」×「交通」の観点から、官民連携によるオンデマンド交通の実証運行を事業化している。

公共交通を積極的に利用してみたくなるような環境創出など、利用促進に向けた仕組みづくりに注力している。

本市においても高齢化の進行に伴う交通弱者の増加が懸念されるが、地域公共交通の新たな可能性と目指すべき将来像へのヒントにつながる視察となった。



●福岡県糸島市

「ふるさと納税の取組について」

◎糸島市 ふるさと納税の寄附額や返礼品数の伸びも特徴的であるが、返礼品を取り扱う事業者の増加が顕著である。

戦略をきちんと立てた上で方針を大きく崩すことなく、事業者強化に組み、寄附額を押し上げていく。強みを的確に把握し、市場にチャレンジしていく。

今度の本市のふるさと納税の体制や、中間事業者、返礼品取扱事業者との関係性を振り返り、今度の可能性の模索にあたり参考となる視察であった。



▲福岡県糸島市 「糸島市議場」

教育民生常任委員会 行政視察報告 7月17日(水)～19日(金)



▲長野県茅野市 会議室

◎茅野市 人口減少に伴う課題が山積するなか、企業版ふるさと納税を活用し「若者に選ばれるまち」の実現に向け産学官が連携し、プロジェクト研究会を立ち上げ、課題解決に取り組んでいた。

募集した10名の研究員から新事業のアイデアを募り、産学官担当者の指導のもと、研究員同士の議論を通じて地域課題の解決につながる事業を構想し、一部は事業化している。(茅野市民になりたくあるライフスタイル創造「地ビールのある「暮らし」の提案」)

本市でも若者が発言しやすく、活躍できる環境を継続して整備していくことが重要であると感じた



▲岐阜県恵那市 えなえーる

◎恵那市 本市の課題である、若い世代や女性の転出等による人口減少対策を学ぶため、『女性が生き生きと暮らせるまち推進事業』の取組を研修した。

また、「女性活躍」や「食」に関する事業の拠点施設としてショッピングセンター内に「恵那中央出張所えなえーる」を開設しており、イベント等を開催し、幅広い世代にPRするとともに誰もが気軽に立ち寄れる場所にしていった。

本市が駅前に整備を進めている複合施設も、先進地にならない、にぎわい創出の拠点となるよう提言してまいりたい。

●長野県茅野市
●岐阜県恵那市

「若者に選ばれるまちプロジェクト研究について」
「女性が生き生きと暮らせるまち推進事業について」
「恵那中央出張所えなえーる現地視察」

申し込みによる

出張!! なんでも意見交換会
を開催しました

6月20日 北都銀行湯沢支店「明日の湯沢を考える会」、みずほ銀行、産業建設常任委員会と「電子マネーによる地域決済ソリューションについて」の意見交換会が開催されました。

意見交換会では、みずほ銀行より、スマホ決済サービス「J-Comi Pay」を地域限定の電子地域通貨として活用し、地域内経済の循環を促進する可能性について、他自治体の事例を交えながら説明がありました。産業建設常任委員会では、5月14日に岐阜県飛騨市で導入されている電子地域通貨「さるぼコイン」の取り組みを視察した内容をもとに、導入に伴う課題や可能性について活発な議論が展開されました。

なお、同委員会では9月12日に湯沢市産業振興部などの関連部署に対して「地域通貨の可能性について」を調査項目とした所管事務調査を実施しました。引き続き本市の経済活性化に繋がる取り組みを調査研究していきます。



特集

出張!! なんでも意見交換会
湯沢市若者や女性が輝く
まちづくり推進協議会×
教育民生常任委員会

令和6年8月23日実施

「議員と語り合おう 出張!! なんでも意見交換会」
今回は、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会から6名の皆さんと、

「若い世代や女性に
選ばれる市になるために
どうあるべきか」

について意見交換を行いました。



若者や女性が活躍する「未来の湯沢市」に向けて

ご意見を伺いました。

◎意見交換会開催の経緯について

「本市の急激に進む少子高齢化、人口減少の解決策として、若者や女性が転出超過にならないためにはどのように取り組むことが必要なのか」をテーマとして教育民生常任委員会では調査研究に取り組んでいる。

昨年9月定例会には「少子化対策に関する提言書」を提出しており、提案の中で「20代・30代女性に選ばれる市」として、住み方の支援、働き方の支援、過ごし方の支援として取りまとめている。先に提出した提言書をさらにブラッシュアップし、より

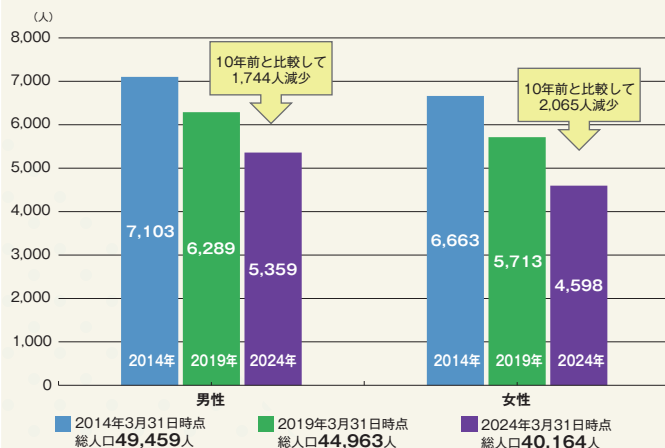
良い提言書を提出することを目標としている。

「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会（以下、推進協議会）」は市長の諮問機関として、若者や女性の活躍推進に関する重要事項について調査・協議し、市が実施する若者や女性の活躍推進に関する施策の実施状況について調査している。

推進協議会では未来の湯沢市の「あるべき姿」を思い描きながら、「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、会議を重ね、昨年は市長へ事業提案を行っている。今回は推進協議会委員の皆さんと湯沢市の未来について、意見交換会をさせていただいた。

20歳から49歳の人口推移(5年、10年前と比較)

※湯沢市年齢層別人口集計表より



Q. どういう気持ちをもって推進協議会委員の活動をされていますか。

■地元のことを考える良いきっかけと思い委員となった。地元を離れた同世代の人たちが、どうしたら地元へ帰ってこられるか、魅力のあるまちになれるかを考え活動している。

■公募委員として参加しているが、正直なところ何をすれば輝くのか、輝いたといえるのかわからない状況。ジレンマを持ちながら活動している。

■数年前から社内での女性だけのチームを立ち上げて活動しており、女性ならではの視点から活性化するように取り組んでいる。活動の延長として意見を出し、少しでも貢献できればと思っている。

■故郷の衰退に危機感を覚え、もつと湯沢市が良くなればという思いで委員となった。活動の中で市側へ提案等行ったが、受け入れられていないと感じる部分がある。そのため活動の意味を感じにくい自分の糧になればと思っている。

■市外から市内の高校に通学している。幼少から湯沢市で過ごす機会が多く、自分にも何かできることがないか、少しでも活性化につなげたいと考えている。

■3年前に帰郷し、子育てしながら仕事をしており、同世代や若い人たちと話すことでリフレッシュできる場となっている。推進協議会として事業提案したことについて、意見交換をしたいと思っている。

Q. 湯沢駅周辺複合施設を活用して、若者や女性が活躍できるようなアイデアはないですか。

■コワーキングスペースやシェアオフィスを用意する。リモートワーカーや出張者が気軽にweb会議等、仕事ができる場所があれば良い。スタート

アップ企業は費用面や個人情報観点から会社の登記場所について悩んでいる場合がある。シェアオフィス等を登記もできる仕組みにすることで県内外から借りる人が増えて関係人口増加に繋がるのでは。法人住民税が市に入るというメリットもある。

■学生が気軽に利用できるカフェなどを併設する。仕事をする人もおしゃべりをする人も過ごしやすい雰囲気づくりは重要だと思う。

■学生や車がない人たちは移動手段が限られているので、タクシーなどの公共交通のサブスク（定額制）を整備するなど、複合施設や商店街に人が集まりやすい仕組みづくりも必要だと思う。

■当日の急な施設予約にも対応できるネット予約など、利用者が利用しやすい環境整備をしてもらいたい。

Q. 一度湯沢を離れても、また湯沢に戻ってきたいと思ってもらうためのアイデアはないですか。

■推進協議会で以前提案をした6つのうち、1つ（婚活サポート）が事業化となった。残りの5つの事業も大変良い内容だと思うので事業化を検討していただきたい。

■助成金の制度を利用して帰ってきたが、周知方法なども含めてもっと広めるべきだと思う。また、広報やチラシなどの紙媒体よりインターネットでの情報発信に力を入れてほしい。

■湯沢市の既存の資源や良さを活かし、魅力を感じてもらうための取り組みを進めることが理想の活性化策だと思う。

■給与面が低いので改善する工夫が必要。また、故郷を想う県外の湯沢市出身者を巻き込んだ活性化の仕組みを整備していくべきだと思う。

■子どもの頃から湯沢に戻ってくる機運を醸成させることが必要だと考える。

◎意見交換会を通して

今回の意見交換会では、推進協議会の活動を通じた意見のほか、今後建設される湯沢駅周辺複合施設を活用した若者や女性が活躍できるようなアイデア、湯沢市の移住・定住の話題など、多岐に渡った意見交換会であった。地元の魅力を高めて移住者を増やす取組や若者の活躍を支援する複合施設活用アイデア、リモートワーク等の環境整備、シェアオフィスの重要性など、具体的な政策につながる意見等もあり、課題を検証しながら今後の活動につなげていきたい。



たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

議会のうごき

7月・8月・9月

- 7月1日 7月期月イチ🟡オンラインミーティング
 7月4日 行政視察受入れ（宮城県多賀城市議会）
 7月6日 議会フォーラム2024
 7月8日 総務財政常任委員会行政視察（～10日、熊本県小国町、大分県中津市、大分県九重町、佐賀県基山町、福岡県糸島市）
 7月11日 教育民生常任委員会委員協議会
 7月12日 会派代表者会議
 7月16日 広報広聴委員会
 7月17日 教育民生常任委員会行政視察（～19日、長野県茅野市、岐阜県恵那市）、行政視察受入れ（熊本県宇土市議会）
 7月22日 令和6年度第1回秋田県市議会議長会定例会（秋田市）
 7月24日 全員協議会、会派合同説明会、総務財政・教育民生常任委員会委員協議会
 7月29日 議会運営委員会
 7月30日 7月臨時会、予算決算常任委員会全体会、総務財政・産業建設常任委員会、次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会、第4回議会改革研修会、第5回議会改革研修会
 8月1日 8月期月イチ🟡オンラインミーティング
 8月5日 行政視察受入れ（秋田県大仙市議会）
 8月7日 広報広聴委員会、釧路市姉妹都市等交流促進議員連盟親善訪問（～9日）
 8月15日 湯沢市戦没者追悼式、湯沢市二十歳を祝う会
 8月16日 全員協議会、教育民生常任委員会委員協議会
 8月19日 議員特別研修（大山豪議員～21日、滋賀県）
 8月23日 議会運営委員会
 8月23日 出張!!なんでも意見交換会（教育民生常任委員会）
 8月27日 次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会、第6回議会改革研修会、第7回議会改革研修会
 8月30日 本会議（開会）、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
 9月2日 9月期月イチ🟡オンラインミーティング
 9月3日 本会議（質疑・付託）、広報広聴委員会
 9月5日 本会議（一般質問）
 9月6日 本会議（一般質問）
 9月10日 予算決算常任委員会（総括質疑）
 9月11日 予算決算常任委員会（決算審査）
 9月12日 全員協議会、予算決算常任委員会分科会（補正予算）、総務財政・教育民生産業建設常任委員会、産業建設常任委員会所管事務調査
 9月13日 次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会
 9月18日 広報広聴委員会、予算決算常任委員会全体会
 9月20日 議会運営委員会
 9月25日 本会議（採決・閉会）、予算決算常任委員会全体会、総務財政・教育民生常任委員会、議員全員協議会
 9月29日 第3回まちなかブチ議会inストリートマルシェ

議長交際費(7月・8月・9月)

支出区分	内 訳	件数・個数	金額(円)
祝金		0	0
寸志		0	0
会費	湯沢市ふるさと応援大使情報交換会 会費 ほか	8	73,000
弔慰		0	0
見舞		0	0
賛助	七夕絵どうろうまつりコンクールの協賛金	1	10,000
接遇	宮城県多賀城市議会来湯時の歓迎酒代	3	9,581
印刷	議長名刺代	1	7,700
合計		13	100,281

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

■ご意見等をお寄せください。

●湯沢市議会に対してのご意見・ご質問などのようなことでも結構です。寄せられた内容に関しては、議会活動の参考とさせていただくほか、市議会だよりやその他の媒体で紹介させていただく場合があります。

提出方法

郵 送：〒012-8501

湯沢市議会事務局 宛（住所不要）

FAX：0183-72-3780

メール：gikai@city.yuzawa.lg.jp

※ 右のQRコードから入力フォームでも提出できます。



12月定例会の日程（予定）

12月4日	本会議 開会（議案上程、提案理由説明）
12月6日	本会議 （議案質疑・付託、請願・陳情付託）
12月11日	本会議 一般質問
12月12日	本会議 一般質問
12月13日	（一般質問 予備日）
12月16日	常任委員会・分科会
12月17日	（常任委員会・分科会 予備日）
12月19日	予算決算常任委員会（全体会）
12月24日	本会議（採決） 閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は11月28日（木）午後5時



秋田県湯沢市議会

ユーチューブ
チャンネル

■議会傍聴について

●本会議や各委員会は、当日受付でどなたでも傍聴できます。

開催日に、市役所本庁舎4階
議会事務局までお越しください。



傍聴の仕方

■議会中継について

●本会議の様子は、配信（ライブ・録画）をしています。ご覧ください。



ライブ・録画

編集後記

議員の任期も残すところあと一年を切りました。

そして、今年もあと2カ月で新しい年がやってきます。

年明けから能登半島地震があり、また7月には秋田県と山形県を中心とした大雨による災害が発生し、市民の皆様も含め多くの方が被害に遭われました。

災害が少ないと言われていた本市においても、多くの被害が発生し一日も早い復旧ができるよう行政と共に議会としてもしっかりと対応してまいります。

「市民の声を一番に」各議員が選挙公約を果たし、市民の皆様の笑顔がふれるよう引き続き頑張ります。

(高橋 達記)

広報広聴委員会

委員長 藤田 健志
 副委員長 小田嶋 秋一
 委員 宮原 純二
 委員 寺田 晃
 委員 佐藤 愛子
 委員 高橋 達子